



図1. 日本におけるアカソハムシの地理的分布. 本地図の縮尺では、前報の図2(鈴木ら, 2016; p. 12)の地図上に示した既知産地(本地図では産地番号を省いて●で表示)と同一あるいはほぼ重なる近隣の産地は、新たに追加していない. 本報告に追加される新産地のうち、採集データを表1に収録してあるものは○で表示し、同表の数字と対応させてある. 採集データを伴わない参考記録として収録した産地は△で表示した. Fig. 1. Geographical distribution of *Potaninia cyrtonoides* in Japan. ●: Representative known habitats shown on the map without habitat numbers; ○: newly added habitats with habitat numbers corresponding to those in Table 1.

報告書: 八王子市動植物目録』(iv + 562 pp.): 296-379. 八王子市史編さん室, 八王子.  
 須田 亨, 1989. 鞘翅目. 『藤岡市史 自然目録編』(546 pp.): 243-289.  
 鈴木邦雄・南 雅之・斎藤昌弘, 2016. アカソハムシ(ハムシ科, ハムシ亜科)の日本における地理的分布. さやばねニューシリーズ, (22): 8-18.

吉田正隆・西川 勝・櫻木大介, 2015. 阿南市の甲虫. 阿波学会紀要, (60): 57-66.

(2017年12月17日受領, 2018年3月3日受理)

【短報】四国におけるリュウキュウダエンチビドロムシの初記録

リュウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* Satô (チビドロムシ科) は、本州(東京都, 広島県), 南西諸島(宝島, 奄美大島, 沖繩島, 西表島, 与那国島) および台湾から記録されている (Satô, 1966; Yoshitomi, 2007; 伊藤・前原, 2017). 伊藤・前原 (2017) は、四国および九州にも生息している可能性を示唆していたが、筆者は四国产の標本を所持しているの、四国初記録として報告する.



図1. 愛媛県鬼北町産リュウキュウダエンチビドロムシ.

同定は Satô (1966), 伊藤・前原 (2017) を参考にした.

報告に先立ち、採集にご同行頂いた東海大学の北野忠教授にお礼申し上げる.

1 ex., 愛媛県北宇和郡鬼北町奈良, 3. IX. 2017, 渡部

採集・保管(図1): 1 ex., 愛媛県北宇和郡鬼北町東仲, 3. IX. 2017, 渡部採集・保管; 1 ex., 愛媛県東温市田窪三ヶ村泉, 18. VII. 2017, 山本採集・愛媛大学ミュージアム保管.

いずれも灯火に飛来した個体を採集したものである.

本種は、類似種のチビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane として誤同定された事例が報告されている (伊藤・前原, 2017). 四国においても本種の分布が確認されたことから、過去に四国から記録されたチビドロムシの記録も再検討の必要があると考えられる.

引用文献

- 伊藤 淳・前原和雄, 2017. 本州のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ. さやばねニューシリーズ, (28): 36-37.
- Satô, M., 1966. The Limnichid-beetles of Japan. Transaction of the Shikoku Entomological Society, 9 (2): 55-62.
- Yoshitomi, H., 2007. A new record of *Pelochares ryukyuensis* (Coleoptera, Limnichidae) from the Island of Yonaguni-jima. Elytra, Tokyo, 35 (2): 528.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地 石川県ふれあい昆虫館) (山本栄治 山本森林生物研究所)